

令和6年度 第1回四街道市障がい者自立支援協議会会議録

開催日時 令和6年5月15日(水) 10時00分～11時00分
開催場所 四街道市役所5階 第1会議室
出席者 委員 鶴岡会長 清水副会長 穴澤委員 石山委員 大川委員
小川委員 金室委員 佐野委員 中村委員 中山(潤)委員
西村委員 西山委員 野口委員 畑山委員
欠席者 委員 浅野委員 金子委員 久保田委員 中山(美)委員 橋本委員
事務局出席者 渡辺福祉サービス部長 大手副参事 下山障がい者支援課長
杉本課長補佐 児童デイサービスセンターくれよん岩井所長
宮内係長 田村主査 河相主任主事 石田主事 金子主事
四街道市障害者相談支援事業所ひだまり 2名
四街道市障害者相談支援事業所ほほえみ 1名
傍聴人 2名

———会議次第———

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 令和5年度活動報告(四街道市障害者相談支援事業所、基幹相談支援センター)
 - (2) 令和5年度部会活動報告及び令和6年度部会活動計画(案)
 - (3) 第5次四街道市障がい者基本計画の策定スケジュール
- 3 その他
- 4 閉会

———会議概要———

- 1 開催
- 2 議題
 - (1) 令和5年度活動報告(四街道市障害者相談支援事業所、基幹相談支援センター)事務局：資料1-1、1-2、1-3に基づき説明

会 長：ただ今の説明に対し、意見はあるか。

清水委員：電話での相談が主であり、その中でも精神障がい者との電話は、長時間の対応になる場合が多いと思われるが、どのくらいの時間となるか、また苦慮している点は何か。

事務局

(ひだまり)：ひだまりが今年で18年となるが、立ち上げ当初はそのような電話がとても多かった。精神障がい者が減っているわけではなく、当初から相談が続いている方もいるが、人によって対面式にしたり相談時間を決めたりなど、ひだまり職員の対応を変えたことで依存性のコントロールなどをすることができ、長時間かかる電話の件数が減少した。

事務局

(ほほえみ)：ほほえみでは、精神障がい者からの相談の電話はかかってくるが、電話で解決するつもりはなく、落ち着くまで話を聞く姿勢をとっている。そうすることで、ストレスを抱えた状態にならず、トラブルの発生を控えさせている。

事務局

(基幹)：電話のみで問題解決することが難しいため、相談時間を決めて、会話の中で要点を抑え、振り返りながら対応している。また、現状として同じ方から電話がかかってくるが多くなっている。

(2) 令和5年度部会活動報告及び令和6年度部会活動計画(案)

事務局：資料2-1、2-2、2-3に基づき説明

会長：ただ今の説明に対し、意見はあるか。

一 同：(意見なし)

(3) 第5次四街道市障がい者基本計画の策定スケジュールについて

事務局：資料3に基づき説明

会長：ただ今の説明に対し、意見はあるか。

穴澤委員：9つの障がい者団体の団体名をお聞きしたい。

事務局：障がいふくしのしおりに掲載している7団体であり、その他リウマチ関係団体や社会福祉協議会で活動をしている団体を含め9団体としている。

穴澤委員：その中には、ひきこもりなどについて関わりのある団体はあるか。

事務局：ひきこもり関係を主で活動している団体は、現在は予定していない。

清水委員：団体としての意見は吸い上げやすいと思うが、個々としての意見も吸い上げるなど、広く取り入れてほしい。

アンケート調査について、手帳所持者等のうち4,500名とあるが、障がいの種別を含めての数だとは思いますが、その中から拾いきれるのかが心配である。この振り分けは、無作為に抽出でも障がい種別について広く取り入れることができるのか。

事務局：この点に関しては、専門的な視点のあるコンサルタントから意見をもらい、有効性が保たれるように抽出し、バランスをとる予定である。また、精神障がい者の方の意見を聴取するのが難しいという点も踏まえて今回初めてWEB回答を取り入れている。コンサルタントからは、他自治体でのWEB回答による調査の実績では、回答率が上がると聞いているため、この方法で実施する予定である。

3. その他

事務局：次回の自立支援協議会の開催については、7月8日（月）市役所5階第1会議室にて、時間は10時開始を予定している。正式な通知は、1カ月程度前に送付する。

4. 閉会